

three-S 主催 摂食・嚥下臨床セミナーのお知らせ

嚥下機能を頭頸部のみで評価するのではなく全身から評価する重要性は少しずつ知られるようになってきましたが、全身の繋がりがなぜ嚥下に影響するのか？また、どのようにアプローチするのか？について知識・技術を深めたいと思っているSTは少なくないと思います。

そこで three-S では摂食・嚥下に関わる機能解剖と全身の繋がりと姿勢をふまえたうえでSTが臨床でどのような徒手療法を行うのか？をテーマに研修会を開催する事となりましたのでご案内させていただきます。

個人に合わせたリハビリを行うために何が必要なのか考えた時、より摂食・嚥下機能に関わる筋肉の位置・動き・繋がりに注目し、さらに姿勢がどのように影響を与えているかを理解する事で今まで以上に的確で効率の良いアプローチが可能となります。以前に比べST向けの触診や評価、徒手療法のセミナーが増え、『全身から診る事』や『姿勢を分析する事』、『実際に触る事』などが重要という考え方がSTにも広まってきました。

でも現実には……

- 勉強してみたけどやっぱり難しい。
- 勉強になったけど実際の臨床でどうやって使えば良いか分からない。
- 実際に徒手療法を行っているが結果が出ているか分からない。
- なぜ徒手療法を行うと変化が出るのか分からない。
- 教えてもらった徒手療法をどのような患者さんに使ったらよいか分からない。
- 結局パターン化して、どの患者さんにも同じアプローチをしている。

などなど……

こういった悩みや疑問を解決するために、このセミナーではST目線で色々な『なぜ？』についてお答えします。

- なぜ徒手療法を行うのか？ ■なぜその筋にアプローチするのか？
- なぜ上手くないのか？ ■評価からどの徒手療法を選択するのか？
- 色々な徒手療法をどうやって患者さんに当てはめていくのか？

実際に徒手療法を行いながらディスカッションも行い受講者の方々が日頃臨床で感じた『なぜ？』をシェアしながら理解を深めていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

内容は下記をご覧ください。

7月11日(土)

『分かりやすい摂食・嚥下の徒手療法』

～STが伝える徒手療法の【なぜ?】～』

- ① 全身からみる嚥下機能について
- ② 徒手療法を効率的に行うための評価・訓練の進め方
(実際の臨床場面の動画を見ながら説明します)
- ③ なぜそのアプローチなのか?～徒手療法選択の考え方～
- ④ 症例ディスカッション
- ⑤ 徒手療法や身体の使い方について～実技練習～
胸椎、鎖骨・肋骨、咽頭部、後頭下筋群、舌骨筋群などへのアプローチ

【日時】 2020年7月11日(土)

10時～16時30分まで(受付開始9時30～)

【場所】 〒060-0052

北海道札幌市中央区南2条東1丁目1-12 フラータ札幌505

【料金】 12,000円

(11日と12日の両日のお申込みで4,000円OFF)

【定員】 6名

【お申込み】 <https://three-s-st.jimdofree.com/>

three-Sのホームページ(セミナー情報)に
お申込みフォーマットがございます。